

家庭学習の手引き

長法寺小学校

保護者の皆様へ

1年間の折り返し。生活、学習を見直す機会に。

2学期がスタートして1カ月以上がたち、今年度の折り返しの時期となりました。夏の暑さが過ぎ、子どもたちにとって、学習や運動に集中して取り組みやすい季節です。ここで一度、自分たちの生活や学習の様子を改めて見直し、さらに自身の頑張りを伸ばす機会にしたいと思います。

見えない力をしっかりと

基礎学力をきちんと身につけるためには、学校での授業を大切にすることはもちろん、さらに、家庭における学習もとても大切です。家庭学習の働きかけ方や各学年に応じた学習のポイント、目安時間などを「学習の手引き」としてまとめています。家庭学習についてご家庭でお話いただく際の参考にさせていただいたり、学習場所の近くに置いて学習のヒントにさせていただいたりするなど、ご活用いただければと思います。

学校の成績（見える力）は地上に表れた幹や枝葉です。見える学力を支える見えない根っこが大切であり、この部分が家庭学習となります。根っこがしっかりしていると、太い幹や豊かな葉の茂りが生まれます。

家庭を学びの環境に

基本的な学習習慣や自学自習の習慣が身に付くように、ぜひ、ご家庭でも励ましや見届けをお願いします。宿題について分からない時は、必ず先生に質問することや、毎日提出するように声かけをしていただき、ご家庭と学校が連携し合いながら子どもの学習を支えてきたいと考えています。また、お子様の学習について不安に思われることなどがございましたら、いつでも学校にご相談ください。

◆規則正しい生活習慣こそ学習する土台となります。

- 生活リズムを整え、早寝・早起きを心がけてください。
- 朝食を必ずとらせ、排便をきちんとさせることが大切です。
- テレビを観る時間やゲームをする時間を親子で決めて、睡眠時間を十分とるようにさせてください。
- 家族の一員であるという自覚を持たせ、家の手伝いなど、家庭での役割をしっかりと持たせることが大切です。

◆家庭学習では、子どもの可能性を伸ばすような働きかけをお願いします。

- 「なぜだろう」「どうしてそうなるの」「おもしろそうだな」という子どもの気持ちを受け止めて、会話を通して自ら解決できるよう励ますことが大切です。また、「なぜなら・・・」「～だから」など理由をつけて自分のことばできちんと話す力は、大切な力です。
- 勉強する時間を決めて、成長に応じた働きかけをお願いします。
 - ・低学年では、宿題のしかたをしっかりと教えることが大切です。また、まちがいがあればその場で直すように助言してください。低学年時の働きかけが家庭学習を方向付けます。
 - ・高学年になるほど、学習の目標を持たせるように働きかけてください。何のために勉強をするのか考えさせることが大切です。
- 子どもと一緒に本を読んだり、本の感想を話し合ったりしてください。
- 難しい問題でも投げ出さず、じっくり考えさせることが大切です。

たくさんのお願いを書いています。まずはご家庭の中でできそうなことから無理なく取り組んでいただけたらと思います。

